

○ 草木染の布でブローチ作り

東北地方に受け継がれてきた「こぎん刺し」で、オリジナルのブローチを作ってみましょう。

1. 日時：2022. 5. 21 (土) 9:30~12:00 天気 曇り
2. リーダー：U、O
3. 参加人数：大人12名 対象者 小学4年生以上
4. ねらい：こぎん刺しの歴史や草木染の良さ（身近な植物で、自然に優しい）を知ってもらう。
5. 活動場所：多目的ルーム
6. 活動内容：草木染の布を使い、こぎん刺しの手法でオリジナルのブローチを作る。

時間・場所	内 容
9:30	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介（ききみみずきのメンバー・参加者） ・内容を伝える：こぎん刺しの歴史、草木染の良さ、作り方手順 <p>「こぎん刺し」の歴史・・・青森県津軽地方に伝わる伝統的な刺子の一つ。江戸時代、農民は高価な色染めの着物などを禁じられ、津軽は綿の栽培に適さず、藩では麻を奨励した。人々は藍染の生地に白の糸で刺して模様を施すようになった。しかし、麻は目が粗く津軽の寒い冬を乗り切るため、温かい空気が少しでも服にこもるように刺子を施した。</p> <p>「草木染の良さ」・・・身近な植物で手軽にできる。自然にも優しい。</p> <p>【作り方手順】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①布のまわりをほつれないようにまつる。 ②ブローチの形を鉛筆で書く。 ③布の外側から5mm位内側をなみ縫いする。 ④中心を決める。 ⑤糸（刺子糸1本か25番糸6本）を針に刺し、中心より刺す。刺し始めは糸を10cm程残しておき、1~2段刺してから裏で刺し始めの糸をかがる。 ⑥③でなみ縫いした糸を引き締めて、ブローチを包む。 ⑦ピンの取り付けは別紙参照。 <p>☆ブローチ出来上がりの円より5mm外側まで刺す。 ☆草木染素材：セイタカアワダチソウ、アカネ、タマネギ。</p>
12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・出来上がったものを見せ合い、感想を言ってもらおう。 <p>アンケート依頼 針の確認</p>